

平成 27 年度第 3 回機器及び安全に関する委員会 議事録

日時：平成 27 年 12 月 4 日（金） 17:30～19:30

場所：日本超音波医学会事務局会議室

参加者（14 名、敬称略）：秋山いわき、工藤信樹、馬場一憲、石原謙、梅村晋一郎、尾本きよか、桑田知之、近藤隆、笹沼英紀、内藤みわ、名取道也、蜂屋弘之、山口匡、新田尚隆（記録）

1. 前回議事録確認

- ・ 前回議事録を確認した。

2. 第 89 回学術集会 AFSUMB 共催シンポジウムについて

- ・ 前報通り、機器及び安全に関する委員会における最近の研究成果として、4 件の発表を行う。（音響放射力の生体への影響検討小委員会、検査環境検討小委員会から各 2 件）
- ・ AFSUMB との共催として準備を進めてきた Safety session については、演者の招聘が困難となったことから、やむを得ずキャンセルとする。

3. 音響放射力検討小委員会報告

- ・ 心臓の期外収縮、肺における出血、骨・肝臓の温度上昇の評価を実施しており、来年度も継続する。

4. 検査環境検討小委員会報告

- ・ 検査環境の現状に合わせた提言に改訂した。本学会のホームページに掲載する予定。

5. 経膈プローブの消毒法に関する小委員会報告

- ・ 今年度実施した 150 症例についての分析結果を報告した。

6. ”The safe use of ultrasound in medical diagnosis”の翻訳について

- ・ 2016 年 3 月末に完成予定。会員ページで配布する。

7. 今年度事業報告及び来年度事業報告について

- ・ 平成 27 年度事業報告：超音波の安全性についての調査・啓発活動、上記小委員会の活動、IEC への委員派遣、学術集会でのパネルディスカッション実施、等。
- ・ 平成 28 年度事業報告：超音波の安全性についての調査・啓発活動、音響放射力の生体への影響検討小委員会の活動、IEC への委員派遣、等。

8. 来年度予算案について

- ・ 事業計画に基づく積み上げを行い、来年度予算案を資料に基づき承認した。

9. 政府報道発表「胎児の4D画像パッケージ商品について」について

ALARA の原則に抵触する恐れがあるため、本会の意見を政府に提言することとした。

10. その他

- ・ 超音波による生体作用実験ガイドラインの学会誌掲載について検討した。
- ・ 次回の委員会は、3月4日（金）17時30分からを予定。

以上